

区立保育園看護師発 今月のテーマ

♡ 子どもの事故予防 ♡

小さなお子さんがあるご家庭では、窓を開けたりベランダに出たりする際には、転落事故に注意が必要です。子どもの転落事故は、大けがや命にかかわる事態となることがあります。あらかじめ対策をしておくことが大切です。



《子どもの建物からの転落死亡事故》

- ◆3~4 歳が多い
- ◆ベランダと窓からの転落が多い
- ◆子どもだけで遊んでいた時の発生が多い
- ※ 子どもは体の大きさに比べ頭が大きく、重心の位置が高いため、手すりから下をのぞきこむと頭から転落しやすい
- ※ 子どもは想定外の行動やいろいろな遊び方をする

《事故が起こらない環境作り》

窓や網戸の安全対策



- 窓や網戸には、子どもの手の届かない位置に補助錠をつける
- 窓の近くに物を置かない
- 網戸や窓に劣化がないか定期的に確認する

子どもの見守りと教育



- 少しの間だからと、子どもだけを部屋に残さない
- ベランダでは、子どもだけで遊ばせない
- 窓枠や出窓に座らせない、網戸や窓に寄りかかせない

ベランダには物を置かないようにする

- 手すりの近くには足台となる物を置かない
- エアコンの室外機は、手すりから60 cm以上離して設置する



政府広報オンライン：(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202107/3.html>) をもとに作成

大田区の感染症情報

便の始末をした後には
手洗いをしっかり行いましょう

ヘルパンギーナや手足口病、ヒトメタニューモウイルス感染症などは、症状がなくなった後も便の中にしばらくウイルスが排出されます。便の始末をした後は、しっかり石けんで手を洗いましょう。



学校等欠席者・感染症情報システムを活用し区内4地域(大森、調布、蒲田、糀谷・羽田)の感染症流行状況と感染症に関する情報をお伝えしています。

＜8月1日～8月24日の感染症状況＞

地域	大森	調布	蒲田	糀谷 羽田
疾患名				
ヘルパンギーナ	11	21	15	3
手足口病	1	1	23	11
ヒトメタニューモウイルス感染症	21	1	5	3
新型コロナウイルス感染症	19	11	24	10
RSウイルス感染症	8	3	13	0